

高齢者に伺ってのお客様参加型コンサートの 共演者拡大による更なる質量充実施策の展開

[目 次]

1. 法人概要
2. 本事業の目的
3. 具体的事業内容
4. 一流演奏家等の効用
5. 実施効果
6. 今後の課題

1. 法人概要

- ・2011年8月、横浜市にて設立。
- ・2012年4月、福岡市に移転。

[理念]

- (1) 社会福祉と音楽普及の連動による社会貢献活動
- (2) すばらしい音楽にジャンルの垣根がないことの発信

[具体的施策]

普段、生の音楽に接する機会の少ない方々の為に、高齢者施設等に伺ってのお客様参加型コンサートを2012年12月～継続拡大中。

お客様と演奏者が一体となって、楽しく、心身両面に亘り、有意義な時間を共有することにより、高齢者の自立、残存機能確保を目指す活動を指向。

[実績]

2012年12月～2016年3月迄、合計182回実施。

[一昨年度]

地域に密着した社会貢献活動として、プロ演奏家との共演による質の向上実現

[昨年度]

1. 共演者：主体はあくまでもMDCとして、理念と施策の実現に注力。更に、バリエーティ拡大を趣旨として、コンサートに必須のピアニストに加えて、以下の共演を実現。

(1) 地元演奏家(マリンバ、ファゴット、声楽)

(2) 日本を代表する演奏家(元札幌交響楽団コンサートマスター三上亮氏、NHK交響楽団オーボエ奏者坪池泉美氏)

(3) ダウン症で右手が生まれつきない鈴木凜太郎氏(ピアノ)

2. 対象施設

・比較的、安価な謝礼の施設も対象に加え、その価値を体感いただくよう努める。

[今年度]

昨年度の施策を継続し、より一層の質の向上を目指す。

3. 具体的事業内容

[内容]

・クラシック音楽に加えて、叙情歌、懐メロジャンルの垣根を超えた音楽について、お客様にも歌でご参加いただくコンサートを開催

(昨年度は、毎回、「テレビ、ラジオ、映画で奏でられた名曲を楽しみましょう!」「ご当地音楽特集」「音楽で夢を見ましょう!」「学校で習った名曲を楽しみましょう!」「もうすぐ春!音楽で寒い冬を吹き飛ばしましょう!」等コンセプトを明確化)

[対象施設]

(1)昨年度からの継続として、比較的高額の謝礼(¥10,000以上/回)の3施設

(グッドタイムホームグループ(海の中道、西の丘、薬院))(合計9回開催)

(2)今年度、新規に、比較的安価な謝礼(¥3,000~5,000/回)の3施設(ホスピタルメント福岡

天神、早稲田イーライフ福岡ドーム南、ケア・ラポート野間を追加(合計19回開催))

4. 一流演奏家等の効用

- ・トランペット、声楽、マリンバ等種々の楽器との共演は高齢者との一体感醸成に有益
→地元演奏家の演奏機会拡大との連動
- ・MDCの趣旨に賛同する一流演奏家等との共演は間違いなく、お客様にそのすばらしさが伝わり、感動に包まれる（逆に言えば、単に質の高い演奏のみを追求する演奏家は相応しくない）。
- ・そして、最も嬉しいのは、ご参加者からのありがたいお言葉をいただく時である。

[今年度共演予定者]

地元演奏家	コンサートに必須のピアノに加えて、声楽、マリンバ等
一流演奏家	①三上亮氏（元札幌交響楽団コンサートマスターのヴァイオリニスト。ホスピス、病院等での慰問演奏に注力中） ②坪池泉美氏（NHK交響楽団オーボエ奏者。音楽の裾野拡大に注力中）
障がい者演奏家	①鈴木凜太郎氏（生まれつき右腕を持たないダウン症ピアニスト） ②大城克月氏（盲目の知的障がいを持つクラリネット奏者）

5. 実施効果

(1) 質的効果

高年齢者のQOL向上	<ul style="list-style-type: none"> ・医学的には、脳科学の観点から、脳内物質の分泌が増加し、生きる意欲の向上につながるという検証が行なわれている段階。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が家族、近隣住民と一緒に音楽を楽しむ機会の創出 ・文化芸術活動による地域活性化 ・近隣住民の生涯学習の場の提供 ・音楽家が身近な存在であることの発信による生活に密着した文化芸術交流
地元のプロ音楽家育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動するプロ音楽家の活動機会拡大 ・地域に定住して音楽活動を展開する人材育成
遠隔地の種々の演奏家との交流実現	<ul style="list-style-type: none"> ・この活動に賛同するトップレベルの演奏家とのふれあい ・障がいを持つ演奏家による力の付与

(2) 量的効果

① 一昨年度、昨年度

項目	内容
補助金による謝礼レベルアップ効果	<p>一昨年度: MDC(活用前) ¥3,600/人 → (活用後) ¥4,800/人 共演者(活用前) ¥4,100/人 → (活用後) ¥8,100/人</p> <p>昨年度: MDC(活用前) ¥3,800/人 → (活用後) ¥5,200/人 共演者(活用前) ¥4,400/人 → (活用後) ¥9,300/人</p>
謝礼レベル向上	<p>一昨年度: 2施設が ¥10,000/回 → ¥15,000/回にアップ</p> <p>昨年度: 2施設が ¥15,000/回をそれぞれ ¥20,000/回、¥18,000/回にアップ</p>

② 今年度

[謝金レベル向上]

・更なる質の向上を理解いただき、引続き、施設の謝礼レベル向上施策を展開

6. 今後の課題

(1) 質的側面

パフォーマンス力の
一層の向上



それぞれの施設の特徴に応じたフレキシブルな対応による訪問施設の更なる理解度向上

①一層、会場一体となった盛り上がりの追求。

(A)飽くなき音楽力向上

(B)回想法も含めた更なるトーク力向上

(C)介護スタッフの協力度向上

②引続き、趣旨に賛同する共演者拡大に注力。

(2) 量的側面

事業化に向けた施策の具体的展開。

(A)引続き、メディアとの連携に注力

・一昨年度、昨年度は以下を実施

(a)RKBラジオ「サンデースウィングライフ」出演(一昨年度)、KBCテレビ「アサデス」出演(昨年度)

(b)毎日新聞「この人」掲載(一昨年度)、高齢者施設とタイアップした西日本新聞記事掲載(昨年度)

(B)スポンサー探索の継続的实施